

桃谷中学校

元気アップ通信

令和7年7・8月合併号

さあ、もう間もなく楽しい夏休み！夏休みも図書館を開放しますので予定表を見て足を運んでみてください。懇談期間の放課後も開放します。待ち時間などに活用してみてください。

懇談期間～夏休み中図書館開放（自主学习もできます）

7月 懇談期間 10日（木）・11日（金）・15日（火）放課後 ～16時

16日（水） 9時 ～16時

終業式 17日（木） 放課後 ～15時

夏休み 22日（火） 10時 ～12時

23日（水） 12時 ～16時

30日（水） 9時 ～16時

8月 夏休み 4日（月） 10時 ～12時

5日（火） 10時 ～12時

6日（水） 9時 ～16時

20日（水） 12時 ～16時

21日（木） 10時 ～12時

22日（金） 10時 ～12時

始業式 25日（月） 放課後 ～15時

本の貸し借りだけでなく、宿題等の勉強をしにきてもOKです。

夏休み特別貸出として

7月1日（火）から

貸出冊数が4冊

になります！

少しだけ新刊が入って来ます

今年度一回目の新刊が夏休み前に入ってきます。今回もリクエスト分をご紹介します。

『財布は踊る』 原田ひ香



会社の同僚と平凡な結婚をし、ひとり息子にも恵まれ、専業主婦と穏やかに暮らす葉月みづほ。彼女は夢を実現するために、夫から渡される月5万円の生活費を切り詰め、人知れず毎月2万円を貯金していた。2年以上の努力が実った喜びも束の間…。

『ブレイクショット』 逢坂冬馬



自動車期間工の本田昂は、Twitterの140字だけが社会とのつながりだった。2年11か月の寮生活を終えようとしていた。最終日、同僚がSUVブレイクショットのボルトをひとつ車体の内部に落とすのを目撃する。見過ごせば明日からは自由の身だが…。

『私だけ年を取っているみたいだ。ヤングケアラーの再生日記』 水谷緑

統合失調症の母、家庭に無関心な父、特別扱いされる弟。認知症の祖父——ゆいは幼稚園のころから、買い物・料理・そうじ・洗濯など家庭の世話を一手に担っている。母親の暴力に耐えながら「子供らしさ」を押し殺して生きるのに精一杯だった彼女の子ども時代と、成人してからの「ヤングケアラーとしての自覚。仕事、結婚、子育てを通じて、悩みにぶつかりながらも失われていた感情を取り戻すまでの再生の物語です。総ルビ付きのコミックです。



TikToker けんごさんが紹介する本 帯で紹介

今月は先月に引き続きけんごさんが紹介している本を2冊ピックアップ！
さらに今月はその本に付いていた帯（おび）をつかって紹介していきたいと思います。

まず最初に、みなさん本についている帯って知っていますか？

本についての宣伝やキャッチコピー、推薦文等が書かれた紙で、カバーの上から巻かれています。海外の本にはあまり見られないので日本独特のものだと言ってもいいと思います。

では実際の帯で本の紹介をしていきます。

1冊目『52 ヘルツのクジラたち』町田その子さんの作品です。



2021年

本屋大賞 第1位

売りたい本
いちばん！
全国書店員が選んだ
2021年本屋大賞
中央公論新社
定価1760円(10%税込)

★『王様のブランチ』
TBS系毎週土曜あさ9時30分より生放送
BOOK大賞2020 受賞

★読書メーター
OF THE YEAR 2020 第1位

2021年
本屋大賞
第1位
町田その子

52ヘルツのクジラとは——
他の鯨が聞き取れない高い周波数で鳴く、
世界で一頭だけのクジラ。
たくさんの仲間がいるはずなのに何も届かない、何も届けられない。
そのため、世界で一番孤独だと言われている。

自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、
母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。
孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会い、
新たな魂の物語が生まれる——。

どうでしょうか？読んでみたいと思いませんか？

この作品は2021年の本屋大賞(全国の書店員さんたちからもっとも売りたい本として投票され決定する賞)を獲ったことが大きく書かれています。

この帯にはもう一つおもしろい仕掛けがあって、実は裏側に外伝が掲載されているんです。これに気づいた時はさすがに「お～！こんなところにも！」とうなってしまいました。

本の帯は取っておく派とさっさと捨ててしまう派に分かれますがこれは取っておかないともったいないですよ。

けんごさんは
不安な気持ちはなかなか人に
届かなくて一人で抱え込みが
ち。でもこの声が聞こえる人が
今はいなくても必ず現われる。
それを教えてくれる作品。
と紹介しています。

2冊目『アルプス席の母』早見和真

野球部に、父母会に、
大阪に、
負けるもんか
監督に、怪我に、
小学館 定価1,870円(10%税込) 息子なんかに

『王様のブランチ』
「ひるまえほっと」で紹介！
「この物語に
救われる
球児の母親が
どれだけのことが
全母親が
落涙必至!!」
吉田伸子 (書評家)

母親たちの
熱闘甲子園！
小学館

デビュー作『ひやくはち』
以来となる著者渾身の
まったく新しい
高校野球小説！
「高校球児の母でもないし、なんなら母でもないですが、航太郎たちに泣かれました。早見さん、何者なんですか？」
— 函館書屋書店 宮成珠美さん

「こんな高校野球小説読んだことない。まるで映画のようだった！」
— 福岡 金文堂志摩店 伊賀理江子さん

「部活に打ち込んできた者に、そして全ての親に刺さる一冊」
— 喜久屋書店 千葉 ユー・タウン店 堀屋さん

「こんな、泣けると話題！
泣くにきまつてるやん。
大重版出来!!」

こちらの小説は2025年本屋大賞第2位に選ばれています。野球球児のお母さんにも読んでほしいです。

けんごさんも2024年に刊行された本TOP10の第3位に選んでいました。

けんごさんは
高校球児を主人公にしたボロ泣きした小説。
と紹介しています。